



【挨拶をする岩政学長】



【挨拶をする大城県教育長】



【挨拶をする板東局長】



【回会をする真栄城センター長】



【今後の全国継続熟識について
説明をする課程長】



【熟識の説明をする平山課長補佐】



【関係者席の様子】



【会場の様子】



【会場の様子】

熟議in八重山 「考えよう！ やいまっ子の未来」

(平成24年2月12日実施)

琉球大学「知のふるさと納税」特別企画

熟議in八重山 考えよう！ やいまっ子の未来

2月12日

17:00~19:00

場所：石垣市健康福祉センター

※15時からの講演を聞いた上で参加されることをおすすめします。

●当日のスケジュール●

15:00 家庭教育支援講演

講師：前原 武子

演題：「ほどよい感度とつながり」

17:00 熟議in八重山

テーマ「考えよう！ やいまっ子の未来」

ファシリテーター：大城 武秀

19:00 閉会

主催：国立大学法人琉球大学

共催：八重山地区社会教育委員連絡協議会

後援：沖縄県教育委員会八重山教育事務所

八重山地区PTA連合会

講師・ファシリテーター紹介

前原 武子（琉球大学名誉教授）

琉球大学名誉教授（石垣市出身）。『生徒支援の教育心理学』北大路書房（2002年）、『発達支援のための生涯発達心理学』ナカニシヤ出版（2008年）など著書多数。

親と子の関係、祖父母と孫の関係、教師と生徒の関係などの心理学研究で大きな業績を残している。

大城 武秀（ファシリテーション研究会代表）

平成21年、沖縄にてファシリテーション研究会を設立。同研究会の企画運営、町内会・自治会等における参加型会議（ワークショップ）のファシリテーターとして活動。ファシリテーション普及に向け「FAJ日本ファシリテーション協会」沖縄サロンでの活動にも取り組んでいる。

※熟議に関する詳しい内容は裏面をお読みください。

平成24年2月12日には、「熟議in八重山：考えよう！ やいまっ子の未来」と題する特別企画を実施しました。

はじめに、本学名誉教授の前原武子先生の講演「ほどよい感度とつながり」を聴き、大人と子どもによりよい関係の持ち方に関するレクチャーを受けました。子どもの頃に「自分を信じる力」や「人とつながる力」、「誘惑に抵抗する力」などを身につけることが重要であること、子育ては子どもが育つだけでなく、親も育つプロセスであることなどを学びました。

続けて、PTA関係者や本学教職員、学生7名を含む総勢30名でワールドカフェ方式のワークショップを開催しました。ワールドカフェとは、カフェのような気軽な雰囲気の中で、参加者が自由に発言し、アイデアが交換されることで、新たな気づきや知識が得られる、新しい話し合いの方式です。大城武秀さんのファシリテーションにより、八重山の子育てをめぐる現状や、地域社会のつながりの重要性、これからのアクションなどについて幅広い意見が出され、白熱した議論が展開されました。



出会うために

子ども達の未来のために
大人は大切なのは
何をすればいいか
を一緒に考えていくこと
だと思います。

人とのつながり
いろいろな事を
学ばせてくれる。
育自
言葉が最高

ルール：共同
体、帰属意識
地域力、文化
芸術、自然
祭り、言葉
地元教員

深い「熱意」を
持つ人。親子の
関係は難しい。学
校生活で「やいま
っ子」を育てる
のは大変。でも、
石垣島って、やいま
っ子が多いから、
と改めて実感した。

